

新 みどりの 大使 が行く!



1月22日、「第56回ミス日本コンテスト2024」が都内で開催され、12名のファイナリストから各賞の受賞者が決定しました。「2024ミス日本みどりの大使」は安藤きらりさん(23)です!
みどりの大使は、ミス日本各賞の一つで、これからの1年間、森林の大切さや木の文化の素晴らしさを伝え、みどりと木への親しみを広める役割を担います。

自己紹介

はじめまして!2024ミス日本みどりの大使、安藤きらりと申します。東京都出身、慶應義塾大学の4年生です。一年間、よろしくお願ひいたします。高校、大学と7年間チアダンスに打ち込んできました。チアダンスの大会では、神奈川二連覇、全国六位。応援団としては、甲子園や侍ジャパンなど、世代を代表する方々の応援をしてきました。プライベートでは、十歳からニワトリをペットとして飼育しており、「コケッココ」で目覚める毎日を過

しています。飼育をきっかけに畜産に興味を持ち、卒業論文では畜産経営に関する論文を執筆しました。特技はニワトリの爪を整えること、趣味は水泳とドラマです。

ミス日本にエントリーしたきっかけは、こどもたちの未来を豊かにするという夢を叶えたいと思ったからです。保育園や学童保育といった、こどもと関わるアルバイトを通じて、「実際に触れること」が減少していると感じました。例えば、節分で豆を撒こうと提案しても、YouTubeでみるから大丈夫と言われてしまうことがありました。

インターネットが普及する中で、こどもたちが画面に依存せず、肌で感じる体験を多くしてほしいという強い思いがあります。ミス日本の活動を通じて、こどもたちに多くの経験をする手助けができればと思っています。

インターネットが普及する中で、こどもたちが画面に依存せず、肌で感じる体験を多くしてほしいという強い思いがあります。ミス日本の活動を通じて、こどもたちに多くの経験をする手助けができればと思っています。



2024ミス日本みどりの大使
安藤きらり

プロフィール

出身地：東京都

趣味：水泳、ニワトリの飼育

特技：チアダンス、

ニワトリの爪を整えること



森のようちえん

幼少期の私は、緑が多く広大な大本山總持寺にある保育園で過ごしました。季節とともに変わりゆく景色を見ながら四季を肌で感じ、「実際に触れること」をしてきました。それを踏まえて、これまでの歴代みどりの大使の活動で興味があるのは「森のようちえん」です。

2月の初めには早速関東近郊に視察に行かせていただきました。浦和ひなどり保育園、東京ゆりかご幼稚園です。どちらも広々とした敷地に、たくさんのお木が溢れていて、感銘を受けました。そして、のびのびと過ごす子どもたちの様子を見て、改めてより多くの子どもたちにもどりと触れ合ってほしいと思いました。自然と触れ合うことによって学べること、生まれる人間関係、問題解決能力、これらを見どりの大使として広めていきたいと思えます。

緑の雇用ポスター撮影

2月17日には千葉県君津市にて、緑の雇用ポスターの撮影がありました。日頃、林業に尽力なさっている方々とお話することができて、とても学び多い時間を過ごせました。女性の方もいらっしやう、働き方や仕事を始め

たきつけかなどをお聞きすることができました。私が一番印象的だったことは、現場でのお仕事に加えて、デスクワークに徹する日もあるというお話です。管理も含めて林業のプロフェッショナルなのだと感じました。撮影では、チェーンソーを持つ機会もありました。初めて手にするチェーンソーは想像よりもずっと重たくて、大変驚きました。持ち方や防護服の仕組みまで教えていただき、チェーンソーを扱う難しさを知りました。

また、この日は伐倒の様子も見せていただきました。伐倒のシーンも新しい発見でいっぱいでした。伐倒には



チェーンソーのほか、次から次へと様々な道具を駆使して、スマートに正確に木を切っていました。私と年齢の近い方が、重量のあるチェーンソーや道具などを自在に操っている姿に、プロの矜持きんじょうしを見た思いました。改めて、あたたかい皆さまに囲まれて、森林で撮影ができたことを心より嬉しく思います。ありがとうございました。

10代目のみどりの大使

みどりの大使は、今年で10代目となります。これから一年間、未来に繋がる豊かな緑を守り育ててきた取組や、生活に根ざした日本の木の文化を尊び、みどりや木との触れ合いを通じて、みどりと木への親しみを広めていきます。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

